

放課後スペースviva！運営委員会 会 2019年度・事業報告書



＜放課後スペースviva！運営委員会（任意団体）＞
大阪府大阪市東淀川区東淡路1-5-51ショッピングタウンエバーレ内
0120-939-070 | viva.higashiyodogawa@gmail.com
<https://viva.syukudai-cafe.net/>

放課後スペースviva！運営委員会

2019年度・事業報告書

(2019年2月1日～2020年1月31日)

●しゅくだいカフェの役割と、私たちの目指すもの

放課後スペースviva！の「しゅくだいカフェ」は、「放課後のこどもの居場所」の1つのスタイルとして、学校の宿題だけ終わらせ、自由に過ごせるフリースペースです。

一人で宿題に取り組むのはむずかしいという子ども、スタッフやボランティアがサポートし、見守りのある安心・安全な場で、楽しく放課後を過ごせます。

宿題が終わったら、ポイントカードにスタンプがもらえ、貯まると駄菓子と交換できたり、特別な遊びができたりします。ここ、放課後スペースviva!で始まり、今全国に広がり始めています。

ーしゅくだいカフェの役割ー

①子育て世帯の「家族だんらん（夜の2時間）」を確保

シングルマザーやシングルファーザーで子育てしている家庭はもちろん、子育て世代の夫婦も他の年代に比べて共働きが多く、一番子どもとコミュニケーションを取りたい時代になかなかその時間がとれないというジレンマがあります。

家族で一緒に過ごせる貴重な夜の時間を、「宿題やったの?」「明日の準備おわってるの?」なんて会話に支配されないように。家に帰るまでに「しゅくだいカフェ」で確実に宿題を終わらせ、夜はしっかりと家族のコミュニケーションをとれるようにサポートしたいと考えています。

②放課後、子どもたちが安全に安心して学べる、遊べる居場所づくり

都会では、また地方でさえも、ひと昔前と比べると、地域コミュニティが疎遠になり、子どもたちが安心してのびのび遊べる場所が減ってきています。小学生がコンビニの前で携帯ゲームで遊んでいたりと、細い路地で家に当たらないように気を付けながらキャッチボールをしている姿を見ることがあります。

特に雨が降ると行き場がなくなり、子どもたちは自宅で1人夜まで過ごすことが多いとも聞きます。

そんな地元の子どもたちに、安全で安心できる学び場・遊び場を提供したいと考えています。

③課題やハンデを持つ子どもを、自然なコミュニケーションの中でサポートする

最近では声高に「子どもの貧困」や「発達障害・学習障害」などの子どもを取り巻く問題が、各種メディアで取り上げられるようになりました。私たちはその専門家で

はありませんが、そんな課題やハンデを自然なコミュニケーションの中で汲み取り、必要なサポートにつなげていきたいと考えています。
また、しゅくだいカフェは違う学校、異年齢の多くの友達と同じ空間で混ざりあって遊ぶことで、「10年後に社会とつながる」ために支えになるコミュニケーションや多様な体験が積める場でありたいと考えています。

●団体概要

- (1)団体名 放課後スペースviva! 運営委員会
- (2)所在地 大阪府大阪市東淀川区東淡路1-5-51ショッピングタウンエバーレ内
- (3)代表者 本川誠 (運営委員長)
- (4)組織 小学生の放課後支援と子育て世帯の保護やのゆとり創出を
ミッションとする任意団体
- (5)設立 2016.9.1

●事業の全体像

しゅくだいカフェの現場運営

夏休みなどの長期休暇も含め、平日（月曜日～金曜日）の15:00～19:00の4時間の間、宿題を済ませて自由に遊べる、大人の見守りのあるフリースペースとして居場所を開放しました。

（対象者）

東淡路小学校・菅原小学校区を中心とした、区内の小学生

※学校に行っていない子どもたちも気兼ねなくきてもらえるよう配慮しています。

□来訪人数 ※（）内は前年度比

2月	延べ来訪人数322人（+111人） / 1日平均16.1人（+5.6人）
3月	延べ来訪人数254人（+96人） / 1日平均12.7人（+5.6人）
4月	延べ来訪人数310人（+109人） / 1日平均14.8人（+5.3人）
5月	延べ来訪人数327人（+11人） / 1日平均15.6人（+1.3人）
6月	延べ来訪人数389人（+140人） / 1日平均18.5人（+6.1人）
7月	延べ来訪人数515人（+218人） / 1日平均22.4人（+7.6人）
8月	延べ来訪人数242人（-75人） / 1日平均13.4人（-2.4人）

9月	延べ来訪人数335人（+124人） / 1日平均18.6人（+5.7人）
10月	延べ来訪人数250人（-56人） / 1日平均11.4人（-2.0人）
11月	延べ来訪人数199人（-89人） / 1日平均10人（-4.4人）
12月	延べ来訪人数190人（-85人） / 1日平均9.5人（-4.2人）
1月	延べ来訪人数66人（※） / 1日平均11人（※） ※1月15日現在

□成果

- ・居場所にやってくる子どもの数は2018年度と比べ増加している。10月～12月のみ減少している為、現在見えている課題（他校の生徒同士によりハレーション等）を運営委員で共有し課題解決へ向けて進めていく。放課後を過ごせる場所、楽しいイベントが行われる場所として定着してきている上に1月からは新しい取り組みとして「コドモキッチン」での子ども達に向けた食事の自立支援を開始していく予定であり、更にニーズが増える予測。
- ・現在、vivalの宿題カフェに日常的にやってくる子どもたちの中には、共働きやシングルマザー、シングルファーザーの家庭も多く、保護者からの「ここがあるので安心できるし、宿題も終わっているのを助かっている」との声も度々聞かれていること。
- ・公的な放課後の子どもたちの受け皿である「いきいき」では受けとめ難いニーズ（より自由に過ごせる）を受けとめることもできていること。

□課題

- ・他校（東淡路小学校と菅原小学校の子ども同士のハレーション）
 - ・しゅくだいカフェの活動や理念が、学校や地域からの理解を十分に得られていない側面があること。
- 毎年新年度には近隣の小学校長を訪ね状況共有をする等の活動をし継続していきます。

□その他

2019年9月に実施したクラウドファンディングを成功させ述べ70人の支援者から1,075,000円の寄付が集まった。

放課後をもっと豊かにする
「子どもキッチン」
をしゅくだいカフェ
に併設したい！







1月より辻調理専門学校の学生と協働で開発した「ジブンメシクエスト」を開始予定。料理に関するスキルをゲーム感覚で習得していけるプログラムを実施。シングル世帯や共働き世帯の家庭での時間が更に豊かになる取り組みとして推進していきたい。

月1回のイベント開催

「遊びながら楽しく学べる」をテーマに、月1回のイベントを開催しています。そのイベント開催に合わせて、viva!のこども食堂である「カレー食卓」を開催しており、普段の居場所開放とはまた違う楽しい時間を過ごした後、みんなで食卓を囲んでいます。

□内容

2月	2/24 「DIYで木育教室&カレー食卓」リーラボの谷拓也さんにお越し頂き木育講座をして頂いた後に木に穴をあけて好みにペイントしバードコール（鳥笛）を作りました【参加人数：13人】	
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------

<p>3月</p>	<p>3/24 「郵便局のおしごとを知ろう！消しゴムはんこでハガキ作り&カレー食卓」 高槻川添郵便局の前田局長を講師として迎え郵便局のお仕事について分かりやすく教えてもらいました。消しゴムはんこのワークショップも盛り上がりました【参加人数：22人】</p>	
<p>4月</p>	<p>4/28 「グラフィックコミュニケーション講座&カレー食卓」 相手の話を傾聴に、質問し、より理解を深める為にメモしたり絵や図を描いたりするグラレコ。集中してどんどん絵を描き進めていました。【参加人数：15人】</p>	
<p>5月</p>	<p>5/26 「クレープ屋さん職業体験&カレー食卓」 辻製菓専門学校の元講師であるサンサンファクトリーの山田さん。洋菓子についての座学のあとはホットプレートでクレープを作り、思い思いにトッピングをして楽しみました【参加人数：23人】</p>	
<p>6月</p>	<p>6/23 「本物のAKB振付師とダンスを楽しもう！&カレー食卓」 1時間の練習の後に10分の演目を仕上げ発表するというものでしたが、子ども達の吸収力の凄さを感じる演技でした。【参加人数：8人】</p>	
<p>7月</p>	<p>7/28「河川敷で水風船バトル&カレー食卓」 子ども達が楽しみにしている夏の恒例イベント。水着やゴーグルを装着して思いっきり走り思いっきり水風船をぶつけ合いました！【参加人数：30人】</p>	
<p>8月</p>	<p>8/11 「サマーデイキャンプ&カレー食卓」 大自然の川で飽きる事なく遊んだり、生き物を捕まえたり、流し素麺をしました。採れたて野菜のかぶりつきは意外と人気で新鮮な野菜はすぐに無くなってしまいました。ヘトヘトになるまで遊びました。</p>	

	【参加人数：12人】	
9月	<p>9/22 「プログラミング体験&カレー食卓」 来年の春から小学校でも必修となるプログラミングをゲーム感覚で学びました。自分で書いた絵をiPadに取り込んで命令を作り動かしていきます。楽しく真剣に取り組んでいました。 【参加人数：15人】</p>	
10月	<p>10/27 「ハロウィン撮影会&カレー食卓」 ボランティアスタッフが制作した撮影セット（背景）を前に、美容専門学校の学生さんにお越し頂き、ヘアメイクやフェイスペイントをして本格的な撮影が出来ました。今年は近所の障害施設の子どもも来てくれましたよ。 【参加人数：100人】</p>	
11月	<p>11/24 「知らないカードゲーム大会&カレー食卓」 「狩歌」「はあって言うゲーム」の2つの新しいカードゲームをしました。どちらのカードゲームもすごく盛り上がりワチャワチャの1日でした。 【参加人数：19人】</p>	
12月	<p>12/22 「クリスマスパーティ&カレー食卓」 クリームパンに1つだけカラシが入っている「被害者は誰だ!？」ゲームやペーパータワー（コピー用紙を一番高く積み上げたチームが勝ち）プレゼント交換などをした後は自分たちでホットケーキを焼いて美味しいフルーツやクリームを好きにトッピングして食べました。 【参加人数：19人】</p>	
1月	<p>1/26 「お餅つき体験&カレー食卓」 いつも子ども達に寄付を下さる和菓子屋さんが今年も30キロのもち米を寄付して下さいました。本格的な臼と杵を使って実施予定。沢山お持ちを食べて日本の文化を知る機会にいきます【参加者：15人程度を予想】 ※写真は昨年のももの</p>	

□成果

「カレー食卓」が昨年にスタートし、皆で食事をする事の楽しさを分け合う事が出来た。昨年クラウドファンディングで実施したコドモキッチンの改修工事も終わり、稼働が始まっている。「料理は本来楽しいもの」子ども達が楽しんで取り組めるようゲーム感覚で技術を習得できる【ジブンメシクエスト】は辻調理専門学校の学生3名と協働でプロジェクト作りをしています。

楽しいイベントでは社会の学びを、そして食の大切さと楽しさを学び生きる事、そして家庭での2時間が更に豊かになるよう働きかけをしていきます。

□課題

日曜日は家族で過ごす子ども達も多く、子どもたちの参加人数が少ないことがありますが多くの子どもに参加してもらう事よりも少人数でもニーズのある子ども達にアプローチしていけたらと思っています。

→子どもたち自身の希望を聞きながら企画をする、子どもたちの実行委員会は「子ども会議」と称し春頃からの実施を予定しています。

持続可能な運営のための諸活動

●スタッフなど

・2019年度にはスタッフが2名増えました。毎週シフトに入る事で子ども達との関係作りを深めています。運営委員とスタッフの間くらいの立ち位置の人材を育てる為にシフト前後に運営に関わる業務をしてもらったりしながら更に居場所作りの担い手を増やしていける取り組みをしていきます。

●広報・PRなど

・毎月「活動報告」を作成。代表が新聞配達店を経営している強みを生かし、新聞折込を入れたり、エバーレ内に掲示するなど定期的な発信を継続してきました。

・運営委員の区内外のネットワークを生かし、特にSNS（Facebookなど）を通じて、日常的な情報発信を行なっています。

・大阪を変える100人会議、東淀川工業組合などの場でプレゼンテーションや活動紹介を実施しました。

●寄付募集

・徐々にではあるが、月額サポーターが増えてきています。徐々にリソースが整ってきており、継続できる状態に近づいていると言えます。

●地域や外部組織との連携

・子どもたちとショッピングセンターテナントや、上階住民（エバーグリーン／約3000人が居住）との交流が持てるイベント等を定期開催しています。

(ショッピングセンター内のスーパーでの職業体験・ハロウィンの撮影会・カレー食卓など)

・子どもたちが東淀川区内の様々な人と出会えるよう、運営委員の人脈を活用して、イベントのゲストを極力区内の方にお願ひし、その職業の魅力を伝え体験してもらえる企画を毎月提供しています。

その他、連携している外部組織は以下の通りです。

ひがよど祭実行委員会、関西こども文化協会、ゲストハウス木雲、エバーレテナント会、株式会社西川、大阪を変える100人会議、ふーどばんくOSAKA